



おひさまだより



H29年度 No.5

冬本番。子ども達は ひんやりとした空気を肌で感じたり、白い吐息を吐いたり、小さいながらも冬の季節を体で感じています。これからますます寒さが厳しくなりますが、元気よくすごしたいものですね。

冬の健康と病気「かぜ症状」について

油断できないかぜ

かぜは年齢が低いほど、中耳炎や気管支炎、肺炎などを起こしやすくなります。気管の弱いお子さんの場合は、のどがゼーゼーしたり、長引いたりする傾向があります。早めに診察を受けましょう。

冬のかぜによくある特徴

せき・鼻水・のどの炎症・発熱

呼吸器系にくるかぜ

下痢・おう吐

消化器系にくるかぜ

両方の症状

インフルエンザの疑い

かぜからくる急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管（鼻と耳をつなぐ管）を通して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

高熱

症状

一時的な難聴、閉そく感

激しい耳の痛み

予防

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ

繰り返しやすい、しんしつせい滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切

「インフルエンザ」予防のために

- なるべく人ごみを避ける
- 部屋の湿度は50%~60%くらいに。こまめな換気を心がける
- 十分な睡眠と休養をとる
- バランスのよい食事、十分な水分補給を

病児・病後児保育室「わたっ子保育園」では、二次感染を防ぐため、大変感染力の強い『インフルエンザ（解熱後も）』及び『麻疹』の受け入れをお断りさせていただいております。ご了承ください。



予約、質問などはこちらへ！！

病児・病後児保育室「わたっ子保育園」(直通)

0875-52-6620

過去の「おひさまだより」や病児保育の流れ、予約方法などを掲載しています。ホームページもご覧下さい♪

病児・病後児保育室わたっ子保育園 検索